



2022年12月 NO.67



姉妹都市ダボ逍遥園 20周年訪問交流

11月17日~23日



地元のティーレディ：エミリーさんより茶会おもてなし 逍遥園への貢献に対し地元ボランティアと板頭会長へ
ダボ市長より感謝記念品



裏千家師匠アンソニーさん（右前）と中央ユキさんは通訳でも活躍

夜8時、池への灯籠流しで広がる幻想的な世界



2019年の姉妹都市提携30周年以来、コロナ禍で行き来の途絶えていた訪問交流ですが、今回は渡航制限も緩和され、協会会員14名と市役所から4名がダボから招待を受け使節団として訪問しました。この20年間でオーストラリア屈指の見事な日本庭園となった「逍遥園」の姿は、いかに地元ダボで大切に愛されているかを物語っています。11月19日は、ウエスタンプレーンズ文化センターでの公式ディナー、20日は夕方から1500人の一般市民も訪れ、逍遥園での記念式典や茶会、シドニーからの太鼓チームやファイアダンサー、ウェリントンのジャズバンドなど数々のステージイベントを楽しみました。

訪問団参加メンバーより一言



姉妹都市当初からの
懐かしいケン・ロジャーズさんと

代表理事 板頭芳樹

10年振りに訪れたダボ市日本庭園「逍遙園」は樹木も成長し、手入れも行き届いて、初夏の光の中で輝いていました。

なによりも、多くのダボ市民の方々に愛され、日常的に利用されているという事が嬉しく思います。この庭園を美濃加茂がプレゼントした事は本当に良かったと思います、これから先も両市の友好のシンボルとして輝いて行くでしょう！

個人的にはなりますが、その庭園の茶室と数寄屋門の建設に関わらせて頂いた事は、幸運で有り難き事と感謝し、式典にてダボから感謝頂いた事に感動致しました。

今後も、両市の友好関係がいつまでも続くように、窓口としてのMIEAの役割りを自覚して果たして行きたいと思えます。

理事 瀬口洋女

中世から続く、石の文化ヨーロッパに憧れ一度も渡蒙しなかった私に、MIEAの会員としてチャンスが訪れました。

ダボ空港に下りると何とも美しい牧歌的風景に感動。フレンドリーなホストファミリーのご両親と娘さん、さりげない『オモテナシ』をして頂き、朝目を覚ますと「ここどこ？」まるでマイルームと思うくらいリラックスモード。国際交流をしていく上で大切な心構えを学びました。

ダボの地に日本の美(逍遙園)20年の歳月が美濃加茂市の誇りです。

今回はオプションでダボからタスマニアツアーにも参加。

美味しい空気とワイン~可愛い動物達に逢えて最高の旅となりました。

皆様、お世話になり感謝で一杯です。



理事 加木屋恵美子

みのかもウェイを歩いて数寄屋門をくぐると、見事な日本庭園。

青空に鯉のぼりが泳ぎ、松や柳、石灯笼、睡蓮の葉の浮かぶ池、日本の初夏に咲く花々。大きな池にはたくさんの大きな錦鯉。

聞こえてくる和太鼓の音、たくさんの人々の賑やかな声。

本格的茶室「寿里庵」では、厳かに茶事が行われ、夜には池に浮かぶラントンの幻想的な風景。

2006年に学生派遣引率で初めてDUBBOを訪れ、今回で4回目の訪問。

訪れる度に、素晴らしい日本庭園になっている。時には結婚式も行われる、市民の憩いの場として愛されている庭園。

訪問するたび、心からのもてなしを受け。MIEAの会員として長年交流に携われてきたことを嬉しく思い、DUBBOには、たくさん友人がいて、これからも友好を深めていきたいと思っています。

そして、友好30周年記念に贈られた、カンガルー像のまわりが素敵な、市民の憩いの場所になっていったらいいなあと思えます。



過去ダボ学生派遣引率ケイトさんと

理事 渡辺須美樹

私は初めてMIEAのツアーでダボを訪問しました。

先ず「ホームステイ」がちゃんとできるか？ということが一番の課題でしたがホストに大変親切にいただき、なんとか過ごすことができホストファミリーに本当に感謝です。貴重な体験でした。

今回の交流事業で感じたことは、美濃加茂市とダボの温度差です。やはり美濃加茂市にも市民が日常的にダボを感じる象徴的な施設・ものが絶対必要であると感じました。それが無いと市民レベルでの交流は盛り上がりませんと思えました。



逍遙園に続く MINOKAMO WAY



ホストファミリーとお別れの時

山藤 秀子

ダボ逍遥園 20 周年に参加できるとは、全く思ってもいなかった私ですが、自分の健康状態だけの判断で、皆様とご一緒できたことが冥土の善い土産話になりました。

合併したダボの市民達はホスピタリティーが旺盛で何処へ行っても温かいおもてなしを感じました。

何より自信溢れる市長の力強いスピーチには惚れ惚れして、訪問をずっと楽しみにしていた私は満足感に浸れました。素晴らしいダボの進化は美濃加茂市の宝ですね。

村瀬 富美子

18 年ぶりのダボは、医療や教育等周囲の市町村にとって主要な都市として大きく発展していました。私は 3 年前に我家にホームステイされた Trapman さん夫妻宅に滞在させていただいたのですが、会った瞬間に 3 年間の空白が吹っ飛ばすほど、彼らは変わらず温かく迎えてくれました。

そして、姉妹都市友好のシンボルである日本庭園は、継続的に整備され多くの来場者を迎える近隣住民の憩いの場になっており、とても嬉しく思うと共に、風土も気候も異なる異国の地にこの庭園を築かれた方々のご苦労を垣間見、胸が熱くなりました。

思えば 24 年前、子供のダボ派遣を機に MIEA に入会、お世話になった恩返しにと始めたホストファミリーで国際交流の楽しさを覚え、海外旅行や英会話の勉強等、私の人生はより素晴らしいものになっています。そのきっかけとなったホストファミリーに、今回奇跡的に再会する事ができ、個人的にとっても有意義な訪問となりました。今後も微力ではありますが、国際交流事業に尽力したいと思っています。



村瀬 歩

今回派遣団の一員として参加させていただき、ダボが近年目覚ましい発展を遂げていることを目にする事ができました。広大な国土を持つオーストラリアの中で、ダボ市が土地柄の強みを活かして担っている役割は人々の生活を支えるために必要不可欠なものであり、今後も素晴らしい発展を遂げていくであろうと確信しました。また、このような都市と姉妹交友のある美濃加茂市はとても幸運だなと思いました。

私は現在メルボルンに住んでいるのですが、ダボの人々はその他の大きな都市に比べてとても親身に温かい人達でした。滞在中は日本に負けないくらい素敵なおもてなしをさせていただいたこと、本当に感謝しています。今回初めて逍遥園を訪れ、そのクオリティの高さに驚くと共に、人々の生活の中に自然と溶け込み憩いの場となっていることをとても嬉しく思いました。今後も姉妹都市交流のシンボルとして人々に愛され続けることを願っています。

また、今回のイベントを通して 24 年前に派遣生としてお世話になったホストファミリーと再会する事ができました。当時の私は英語でのコミュニケーションが全くできない状態だったので、滞在中はただ戸惑い言語の壁を大きく感じて、ホストファミリーとの連絡は途絶えてしまっていました。しかしホストファミリーは今もなお 24 年前の私からのプレゼントや手紙を大切に保管しており、この再会を機に、『今後の様々なイベントを一緒に過ごそう！』と温かい言葉もかけてくれています。

日本を離れて異国の地に住むということは簡単なことではありません。その中で、一人でも多く自分のことを思い助けてくれる人がいるというのは本当に心強いです。今はネットも普及し、国境や言語の壁は昔ほど大きなものではなくつつあるので、この出会いを大切にしていきたいと思っています。再会の機会を与えてくださった今回のイベントには本当に感謝しています。ありがとうございました。



24 年前、派遣生として訪問時



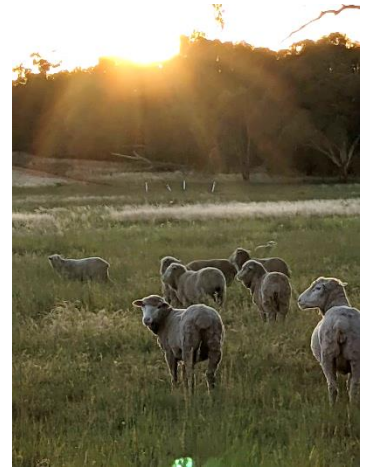
奇遇にも、再会したジョージアさんはダボ姉妹都市委員会メンバーに入会したばかり

金森 薫

今回のダボ市訪問は私にとってとても特別なものとなりました。友達や家族と行く観光旅行とは違い、心地いい緊張感の中、初めてのことばかりでしたが、それがとても新鮮でもあり本当に貴重な経験をさせていただきました。

私は今回が初めてのダボでしたが、今までの長く深い交流があってこそその今回の歓迎でそう感じる場面がたくさんあり、そのおかげで私も一員としてとても温かく受け入れていただけたと思います。美濃加茂市に対して、日本の文化に対しての思いも行く先々で感じ、そのおもてなしの心にも感動しました。ホストファミリーの方は本当に優しく気さくで私たちに多くの思い出を作ってくださいました。市街から少し離れた牧場主のお宅でしたのでまわりの自然はとても雄大で、地平線から登ってくる朝日の壮大さ、その大なる光をあびてたたずんでいる羊や馬、カンガルーなどの多くの生き物たち、まるでカレンダーの写真のような美しい光景で今でも目に焼き付いていて一生忘れることはできません。

環境を破壊するような人工的なものはあまりなく自然をととても大切にしながら遊び心とゆとりをもって自由に素敵な暮らし方をされています。自国の良さもまた悪さも一度離れて外から見ることでいろいろ気づくことができとても貴重な一週間で過ごすことができました。



庭師さん2名ダボ「逍遥園」庭園管理のため派遣 9/3～9/20

【ダボ・リージョン委託事業：加茂農林高校出身 近藤氏・平澤氏】



～庭師近藤氏より報告の抜粋～

今回の剪定作業はコロナの影響により3年ぶりの依頼でした。

松というのも3年も放置すればかなり荒れてしまい、一枝一枝の中の方が日が当たらず枯れ込んでしまうのが日本の状況でもあり心配していました。しかし現地を訪れてみると、想像していた心配も他所に、枯れ込みも少なくホッとしました。3年間の放置で枝を誘引していたロープが枝に食い込んだりしたところが数か所、伸びきった枝を間引いたり誘引の架け替えなどを含めた剪定作業を2週間かけて行いました。当初予定していた竹垣の補修や傷んだ竹垣の散り替えなどは2週間の滞在中に竹が届かずホームステイしていたビルダーのジョシュに寸法や長さを説明して取り換えの依頼をしてみました。また黒松以外の木々の剪定も出来ればと思っていたのですがそれらを剪定する時間も無く来年に持ち越しとなりました。どんどん進化し美しく保たれているダボの逍遥園、とても大切にされ市民に愛されていることを再認識しての帰国となりました。

私たち庭師派遣も剪定が始まって15年、ほぼ毎年行っていますが私たちが剪定にかかるのは年間の1週間のみ、15年で4カ月月程です。ほんの少しこの庭園の維持管理をお手伝いしたに過ぎません。この日本庭園を立派に作り上げたのはダボの市役所のメンバーと週1回来てくれているボランティアの方々の懸命な剪定によって保たれているということです。紺のような立派な日本庭園を誇りに思います。

MIEA2022 年次総会 5/13

個人会員の皆様はじめ、賛助会員としてもご支援いただいている法人会員の皆様も多くお集まりいただき、協会の活動内容や現状について報告しました。

板頭会長からは、コロナで国際交流でも制限がある中で今後の姉妹都市ダボとの継続交流、在住外国市民との相互協力など、今年度の方針が発表されました。



水曜クラブさんとの BBQ 懇親会 7/13



リバーポートパークにて、水曜クラブ例会にて姉妹都市ダボとの交流について、板頭会長よりミニ講演会。

その後、懇親会を開催いただき、MIEA 会員 15 名が参加し、BBQ を囲んで交流を楽しみました。

中山道姫行列に外国人参加 10/16



おん祭秋の陣・姫行列に、ベトナム・フィリピン・ブラジルの 6 名が毛槍奴の衣装で参加し、3 年ぶりに開催された行列を盛り上げてくれました。

外国人児童生徒学習支援

～ MIRAI クラス ～

【美濃加茂市委託事業】火・木（古井）水・金（太田）



小学 2 年生から中学 3 年生まで、放課後や夜に学校での宿題や自主勉強にきています。

夏には、東京大学×美濃加茂ワーホリプロジェクトに参加していた現役東大生の皆さんが MIRAI クラスで飛び入り指導も！

参加していた中学生はとても刺激を受けたようです。また、普段のクラスも「学校で分からないところを教えてもらえて良かった」

保護者から「子どもが自信を持って勉強できるようになって嬉しい」などのコメントもいただいています。

～ MIRAI-II / 親子クラス～

【休眠預金活用事業】月・金（古井）/第 1・3 土



今年度 9 月から
小学生向けの放課後学習の対面クラス
年長 & 小 1・2 年生の親子向けクラスをスタート。

低学年のクラスでは、子どもたちは九九のマスターに一生懸命、取り組んでいます。
また親子クラスでは、保護者がどのように家庭で学習サポートしたらよいか、子どもと一緒に学校での用語などを日本語で覚えてもらうようにしています。

「モロッコガーデン」オープンセレモニー ぎふワールド・ローズガーデン 10/15



当日は、寛仁親王妃信子さま、プフルモロッコ大使、古田県知事、山田在岐阜モロッコ名誉領事はじめ錚々たるご来賓と共に、MIEA 会員もご招待いただき、セレモニーに参加しました。本場の職人の技を誇る本格的庭園は、一足踏み入ると異国情緒たっぷりです。

オープニングにあわせて、『モロッコヴィレッジ』が一週間特設され、モロッコのスークのようで、陽気なモロッコ民族音楽が生演奏、アクセサリーや雑貨、モロッコ料理、本格的なゼリージュの職人実演も行われました。薔薇の季節が一番ですが、タイルや木工細工、彫刻などは年中楽しめます。ぜひ、一度ご覧ください。

学用品リサイクル事業～ハチドリ基金～



整理前

多くの市民の方から、不用になった学用品を寄付いただき、のぞみヶ丘ホスピタル様のご協力で収納場所もお借りしておりますが、整理が追いつかず大変でした。今回、暗いところでの作業用にライトや収納整理用具を「ハチドリ基金」を使って購入させていただきました。これでサイズや学校、種類別に取り出しやすく、迅速に渡せるようになります。

不用になった学用品の募集 〈随時〉

市内在住外国人の方に向けて、リサイクル学用品を貸出しています。中学生の制服・小中学生の体操服など、たいていの学用品はリサイクルしています。ご家庭に使わなくなったものなどありましたら、ぜひ事務局までお願いします。また、日本人の方も生活困難な方などにリサイクルしていますので、必要な方にはお声掛けください。

◆◆JET 国際交流員紹介◆◆

美濃加茂市に 2022 年度より JET プログラムで来日し、市役所で国際交流員として働いている 2 名、駅前分室にいらっしゃいますので、ぜひ交流をお声掛けください。



■ヘルナンデス・エドモンさん (左)
(フィリピン・マニラ出身)

好きなことは、歌うこと・食べること

美濃加茂市の面白いところをぜひ一緒に楽しみたいです。



■ミスタ・ヤーゴさん (右)
(ブラジル・パラナ州出身)



趣味は、読書・美味しいものを食べること
地域の文化をもっと知りたいです

活動を支えてくださる会員を募集しています。

【年会費一口】

個人会員 ¥3,000

家族会員 ¥5,000

法人会員 ¥10,000



美濃加茂国際交流協会の問い合わせは事務局まで！
NPO 法人美濃加茂国際交流協会 Minokamo International Exchange Association

事務局 〒505-0041 美濃加茂市太田町 1752-1 則竹ビル1階

TEL & FAX 0574-28-3822 (月～金/ 9:00～17:00)

E-mail office@miea-jp.com

URL :http://miea-jp.com

FB : http://www.facebook.com/miea.jp